

2017年7月28日

報道関係各位

一般社団法人日本能率協会
ドイツメッセ日本代表部**CEBIT**[®]**世界最大の IT 関連専門展示会「CEBIT 2018」****デジタルによる経済・社会の根本的な変化を、4つの柱で訴求****～開催コンセプトを始め、ロゴマークなどブランディングデザインも一新～**

B to B の IT ソリューションに関する世界最大級の国際情報通信技術展示会として、IoT、ビッグデータ、AI、ロボット、クラウド、セキュリティ等の先端技術とその実用例を紹介してきた「CEBIT」。世界約 70 カ国から約 3,000 社が出展し、前回開催時（2017 年 3 月）には日本がパートナーカントリーとなり、日本企業 121 社が出展しました。

次回「CEBIT 2018」は、4つの柱からなる新たなテーマ構成の下、イベントや会場配置も一新し、2018年6月11日（月）～15日（金）の夏期に開催します。

■4つの柱からなる新しい「CEBIT」のテーマ構成

新しい「CEBIT」は、下記の4つの柱でテーマ構成しています。

1. d!conomy (ディコノミー)
2. d!tec (ディテック)
3. d!talk (ディトーク)
4. d!campus (ディキャンパス)

1. d!conomy (ディコノミー)

第1の柱である「d!conomy」は、企業と官公庁のデジタル化に特化した展示のプラットフォームです。これは、デジタル化に携わる国際企業が、産業界のユーザーが業務をデジタル化するために必要とする、ソリューションとテクノロジーの実例を提案できる場です。「d!conomy」というテーマの下にはデジタルオフィス、プロセスおよびデータ管理、セキュリティ、通信、デバイスおよびインフラストラクチャ等、新たなビジネスの発展に寄与する製品が集まります。例えば、人工知能を活用した自動会話プログラム「チャットボット」やデータ分析等、人工知能の現実世界への応用例の出展が想定されています。

2. d!tec (ディテック)

第2の柱である「d!tec (ディテック)」は、デジタル化の未来に焦点を当てています。新たな市場開拓、革新的なビジネスモデル、新たな価値を生み出すネットワークを創出する技術に触れることにより、デジタル化の将来的な可能性を垣間見ることができます。「d!tec」では、最新の研究のみならず、自動運転から医療サービスロボットに至る広範な分野において、新たなビジネスモデルを生み出すスタートアップ企業を紹介します。

3. d!talk (ディトーク)

第3の柱は「d!talk (ディトーク)」です。デジタル化が経済、政治、社会に及ぼす課題について、カンファレンス形式にて議論を行います。「d!conomy」および「d!tec」ゾーンに中央ステージと10以上の小規模なステージを設置、全世界からデジタル化の第一線にいる専門家、思想家等が登壇、AIのセキュリティに関する課題等、デジタル化に関する対話が交わされるハブとなります。

4. d!campus (ディキャンパス)

第4の柱は「d!campus (ディキャンパス)」です。「d!campus」は屋外会場での開催を予定しており、デジタル化技術が実体験できる、展示会の目玉となっています。「d!campus」では、数々のパフォーマンスやイベントによって、デジタル化技術が独特な形で紹介されると同時に、日中だけではなく、夕刻までカジュアルなネットワーキングをお楽しみいただけます。

「d!campus」は、デジタル化にあらゆる角度から光を当てる実体験型展示として企画されており、ネットワーキングで知り合った双方に利益となる場を提供します。

■生まれ変わった「CEBIT」。次世代の決定権者など新たな来場者層にも訴求

新しい「CEBIT」のテーマ構成は、デジタル化業界から好評を得ています。技術面、ビジネス開発の側面、感性的な側面、全てに訴求する「CEBIT」の新コンセプトは新たな創造性を促進し、以前は「CEBIT」への出展を考えたことすらない企業や、新たな来場者層からの関心も高まっています。このコンセプト変更によって、デジタルおよびITのユーザー産業の専門家やトップレベルの決定権者のみならず、より業務に近いレベルにいる、各企業内でデジタルトランスフォーメーションを主導する次世代の決定権者が「CEBIT 2018」へ来場することが期待されています。

■「デジタル・フライデー」では割安な入場料を適用。展示を一般にも開放し、多彩なプログラムも提供

「CEBIT 2018」開催初日の6月11日(月)は、来場対象が政治家、VIP、報道関係者に限定されます。同日にドイツと海外からの政府高官の来賓を迎える「ウェルカムナイト」が開催され、翌日からの展示会の幕開けとなります。12日(火)からの4日間は、ホールの展示スタンドは午前10時から午後7時まで(最終日は午後5時まで)開いています。また、「d!campus」は午後11時まで開催される予定で、音楽のライブ演奏やパフォーマンスを含むアクション満載のプログラムが提供されます。

6月15日(金)は「デジタル・フライデー」と称し、デジタル化に興味を持つ多くの層と、将来的にデジタル化に貢献すると考えられるコミュニティやグループに対しても門戸を開きます。通常当日購入だと200ユーロになる入場料も、「デジタル・フライデー」のみの入場券は事前購入20ユーロ、当日購入25ユーロと割安料金を適用します。「d!talk」では、国際的なブロガーが集うプラットフォームである「Rock the Blog」などの企画やドローンレース、学生・若手専門家のための採用イベント、ハッカソンのようなプログラマーや開発者向けのプログラムが予定されています。

<主なスケジュール(予定)>

6月11日(月): デジタルビジネス界のリーダーと政府高官によるディスカッション。

来場は政府関係者・報道関係に限定。

12日(火)~14日(木): 「d!conomy」、「d!tec」、「d!talk」、「d!campus」が開催。

来場はビジネス目的の来場者に限定。

15日(金): 「デジタル・フライデー」にてビジネス目的の来場者に加え、デジタル化に貢献するコミュニティやグループにもCEBITを開放

■ロゴマークなどブランディングデザインを一新。大幅割引した入場券も登場

今回、「CEBIT」の新たな方向性を強調するために、ロゴ、フォント、ウェブページなどブランディングデザインを一新しました。

また、入場券の金額設定も一新。会期直前に購入すると 200 ユーロかかる入場券が、25 ユーロに大幅割引された「ディスカバリーチケット」は、2017 年 8 月 15 日まで購入可能。

「ディスカバリーチケット」にて、「CeBIT」の全会場（「d!conomy」、「d!talk」、「d!tec」、「d!campus」）に入場できます。2017 年 8 月 16 日以降、入場券の価格は段階的に引き上げられます。

www.cebit.de からオンラインで購入可能です。



<「CEBIT2018」概要>

名 称：CEBIT 2018（セビット 2018）

会 期：2018 年 6 月 11 日（月）～15 日（金）

10:00～19:00（一部イベントのみ 23:00 まで）

開 催 地：ドイツ・ハノーバー

会 場：ハノーバー国際見本市会場（Hannover Exhibition Grounds）

来場者数：約 200,000 人（前回実績・主催者発表）

出展者数：約 3000 社・団体（約 70 カ国・地域）（前回実績・主催者発表）

主 催 者：Deutsche Messe AG（ドイツメッセ株式会社）

出展料金：4,470 ユーロ～

【本件に関するお問い合わせ】

ドイツメッセ日本代表部（一般社団法人日本能率協会内）

担当：竹生（たけお）、橋本（はしもと）、大津（おおつ）

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-2-2 住友商事竹橋ビル 14F

TEL：03-3434-6447／FAX：03-3434-8076／E-Mail: DMS@jma.or.jp